

指定管理者モニタリング及び実績評価シート（令和5年度）

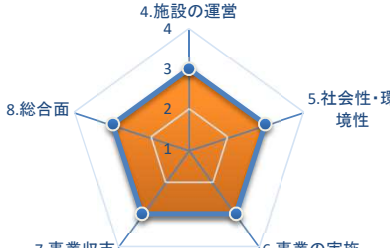
1. 指定管理施設の概要					
施設名	中央図書館 ほか3館			施設所在地	桶川市若宮一丁目5番2号 ほか3か所
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設（図書館法第二条）				
施設概要	○ 中央図書館（おけがわメイン内） 床面積 1,511㎡ 鉄筋コンクリート造 一般開架・児童開架・お話会室・読書会室・対面朗読会室・事務室・更衣室兼倉庫等 ○ 桶川図書館（桶川公民館内） 床面積 532㎡ 鉄筋コンクリート造 一般開架・児童開架・書庫・事務室・更衣室兼倉庫等 ○ 川田谷図書館（川田谷生涯学習センター内） 床面積 238㎡ 鉄筋コンクリート造 成人開架・児童開架・書庫兼事務室等 ○ 坂田図書館（スマイルピアザ坂田内） 床面積 464㎡ 鉄筋コンクリート造 一般開架・児童開架・会議室兼グループ学習室・テラス等（事務室・倉庫・休憩室兼更衣室は共同利用）				
運営状況	利用時間	AM9:00～PM5:00 AM10:00～PM9:00（中央図書館のみ）		定休日等	月曜日（ただし、中央図書館及び坂田図書館を除く） 12月29日から翌年の1月3日までの日
	その他	特別整理期間			

2. 指定管理者の概要						
指定管理者名 (代表者)	丸善雄松堂・図書館流通センター共同事業体 代表構成員 丸善雄松堂株式会社 代表取締役 矢野 正也			指定管理者所在地	東京都港区海岸一丁目9番18号	
事業者の選定理由	平成27年度の改修に伴って大幅に利用者の増加した駅西口図書館を管理しており、利用者の意向調査などをもとに運営の改善を図るなど、再始動後の施設の適切、かつ、安定的な管理に努めているほか、同種業務に関する豊富な実績、組織体制などを高く評価した。また、市は図書館4館を連携・一括管理とすることで、さらに充実した図書館運営を目指そうとしていることに対し、具体的な人員配置や要員の育成、学校をはじめとする市内の他の公共施設との連携など、組織体制や事業についても具体的な提案があった。					
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5か年）			施設利用料金	料金区分	使用料／利用料金制
施設所管課	生涯学習文化財課／生涯学習・スポーツ推進課（令和4年度～）				無料	無料
指定管理の区分	選定方法	避難所指定	施設管理	自主事業	目的外使用許可	余剰金の取扱い
	公募	無し	無し	有り	無し	未執行の修繕・改修 工事費用は返還
指定管理料	募集時上限額（年額：税抜）		157,407,408 円		現年度協定額（年額：税抜）	154,545,455 円
指定管理者の 主な業務	1. 窓口業務（開館準備、利用者登録及び利用者案内、資料の貸出・返却・配架、予約・リクエスト受付処理、予約確保及び予約確保連絡、未返却資料の返却督促、資料の弁償受付、複写機・OPAC・インターネット端末、自動貸出機等の管理及び利用案内、資料相互貸借に関する協定による図書館資料の配送準備、ブックポストの収集・管理、各館への配送、遺失物等管理、問い合わせ対応） 2. 資料管理業務（図書資料の受入、逐次刊行物の受入、寄贈資料の受付・受入、書架の管理、選書の補助、除籍資料の一時選定、資料の補修、資料のリサイクル及び廃棄、蔵書点検） 3. その他の業務（地域・児童・障害者サービス、企画展示、行事運営、ICT関連、読書会・実作サークルに係る業務）					

3. 利用状況（5か年）											
貸出者数	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	貸出冊数	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
実績（人）a	155,538	111,324	141,179	134,964	138,112	実績（冊）a	475,033	354,557	455,494	435,593	426,696
目標値（人）b	155,000	155,000	155,000	155,000	155,000	目標値（冊）b	496,000	496,000	496,000	496,000	496,000
達成率（a/b）	100.35%	71.82%	91.08%	87.07%	89.10%	達成率（a/b）	95.77%	71.48%	91.83%	87.82%	86.03%
前年比	---	71.57%	126.82%	95.60%	102.33%	前年比	---	74.64%	128.47%	95.63%	97.96%

4. 指定管理者収支状況（5か年）											
収入（千円）	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	支出（千円）	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
指定管理料	168,686	170,241	170,000	170,000	170,000	指定事業費	167,686	169,822	169,531	169,555	169,937
使用料	0	0	0	0	0	自主事業費	0	0	0	0	0
自主事業収入	0	0	0	0	0	市への戻入額	1,000	419	469	445	63
収入計	168,686	170,241	170,000	170,000	170,000	支出計	168,686	170,241	170,000	170,000	170,000

5. 年次特殊事情等					
特殊事情等 ※臨時休館等	1. 【図書館システム関連による休館等】 ・4月17日 システムメンテナンス 全館 ・10月30日 システムメンテナンス 全館 2. 【生涯学習センター改修による休館】 ・（令和4年7月1日）～令和6年1月8日まで 川田谷図書館 3. 「蔵書点検による休館」 ・10月17日～10月20日 桶川図書館 ・2月13日～2月16日 中央図書館 ・2月19日～2月22日 坂田図書館				年間開館日数 中央図書館…354日 桶川図書館…305日 川田谷図書館…72日 坂田図書館…354日
設備投資修繕等 ※備品購入含む	4月：中央図書館メイン入口自動ドア修繕、7月：中央図書館利用券発行用ラミネーター修繕、8月・12月：中央図書館館内LED照明器具修繕 8月：坂田図書館利用券発行用ラミネーター修繕、2月：中央図書館書店側入口自動ドア修繕				

6. 評価結果					
評価結果 (1) 履行確認 (2) 質・効果・達成度	評価項目	(1) 履行確認 (適・否評価)	(2) 質・効果・達成度 加点/減点 (±1)		
	1. 企業倫理	適	---		
	2. 施設の維持管理	適	---		
	3. 指定管理者の義務	適	---		
	4. 施設の運営	適	0		
	5. 社会性・環境性	適	0		
	6. 事業の実施	適	0		
	7. 事業収支	---	0		
	8. 総合面	---	0		
総合評価	評価の定義		総合評価ランクの点数基準		総合評価ランク
	要求水準を満たしており、適正である。		(1) 履行確認「全適」＋(2) 質・効果・達成度「減点なし」かつ「加点なし」		
評価理由 (選定委員会)		施設の管理・運営について、要求水準を満たしている。 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も、利用者が安心して過ごせるよう感染防止対策を行いながら、利用者ニーズに寄り添った対応を心がけており、利用者アンケートの高評価につながっている点を評価した。 また、第4期は新型コロナウイルスの影響を多大に受けることとなったが、感染防止対策を図りながら、利用者ニーズの把握に努め、サービスの改善と向上に繋げていたことを評価する。			B

7. モニタリング（基本項目チェック）			※実施の確認（実施・・・「○」、未実施・・・「×」、機会無し・・・「－」）											
評価項目			評価指標（判断基準）			／ 評価指標			募集 要項	仕様 書	協定 書	事業 計画	適 否	総合 評価
大項目	中項目	個別評価項目												
1. 企業倫理	個人情報保護	個人情報の保護	・個人情報保護への対応				✓	✓		✓	○	適		
		守秘義務の遵守	・秘密の保持						✓		○			
	情報セキュリティ	セキュリティポリシーの遵守	・情報セキュリティポリシーの遵守				✓	✓		✓	○			
		職員研修	・従業員に対する適切な研修の実施 / 利益供与の禁止						✓		○			
	法令順守	情報公開対応	・情報公開への適正な対応				✓	✓	✓	✓	○			
		関係法令の遵守	・関係法令の遵守				✓			✓	○			
		再委託規定の遵守	・業務再委託についての規定の遵守				✓				○			
2. 施設の維持管理	安全管理	受動喫煙対策	・受動喫煙の防止についての適切な対応							✓	○	適		
		善管注意義務	・善良な管理者の注意義務の遂行							✓	○			
		警備業務	・警備業務の適正な実施					✓			○			
	維持管理	避難訓練の実施	・避難訓練等の定期的な実施					✓			○			
		施設の運転管理	・施設の適正な運転管理の実施					✓			○			
		施設の修繕	・必要な施設修繕の適正な実施					✓	✓		○			
	保守点検	植栽管理	・植栽管理の適正な実施（令和3年度より造花に変更）								-			
清掃業務		・適正な清掃の実施					✓		✓	○				
3. 指定管理者の義務	調査・協議	施設の衛生管理	・衛生施設等の適正な点検等の実施						✓		○	適		
		施設の保守点検	・施設の保守点検の適正な実施					✓	✓	✓	○			
		アンケート等の実施	・アンケート等の実施 / 利用者満足度調査						✓		○			
	適正管理	市との協議	・市との協議の実施					✓			○			
		市の指示への対応	・市からの指示・協議事項への理解と対応					✓			○			
		備品の管理	・適正な備品管理 / 備品台帳の整備				✓		✓		○			
	報告	文書の管理・保存	・適正文書の管理・保存 / 管理規程の作成					✓	✓	✓	○			
事業計画書の提出		・事業計画書等の作成及び提出					✓	✓	✓	○				
事業報告書の提出		・事業報告書等の書類の提出及び報告等の実施					✓	✓	✓	○				
4. 施設の運営 ※評価項目あり	保険加入	実績報告書の提出	・実績報告書等の提出					✓			○	適		
		火災保険の加入	・火災保険等の加入						✓		○			
		損害保険の加入	・損害賠償に対応した適正な保険への加入						✓		○			
	危機対策	災害時対策	・適切な災害対策の実施 / 危機管理マニュアルの整備				✓	✓		✓	○			
		収支管理	会計管理	・指定管理業務会計の適正管理（区分管理） / 別口座の開設				✓	✓				○	
	人員配置	余剰金の還元	・提案された還元方法の遵守				✓		✓		○			
		適正な人員配置	・適正な人員配置					✓		✓	○			
統括責任者の配置		・適正な統括責任者の配置					✓	✓		○				
5. 社会性・環境性 ※評価項目あり	窓口業務	防火管理者の配置	・適正な防火管理者の配置					✓			○	適		
		窓口業務	・窓口業務の適正実施 / 利用許可							✓	○			
	施設運用	職員の接遇	・適正な接遇の実施							✓	○			
		利用の適正管理	・利用時間等の変更・休館等の適正実施 / 市との協議の実施				✓		✓		○			
	利用者への配慮	資料の適正管理	・書架の管理 / 資料の管理					✓			○			
		障害者等への配慮	・高齢者、障害者等への配慮					✓		✓	○			
		利用の公平性	・市民利用にあつての公平な運営					✓	✓	✓	○			
6. 事業の実施 ※評価項目あり	環境対応	省エネルギー対応	・省エネルギーに配慮した調達				✓	✓	✓		○	適		
		適正な廃棄処理	・廃棄物の処理及びリサイクル等の適正実施				✓	✓	✓		○			
	雇用体制	継続雇用	・既存職員の継続雇用への対応				✓			✓	○			
		障害者雇用	・障害者雇用への対応				✓		✓	✓	○			
		地域貢献	施設の設置目的	・施設の設置目的に基づく管理運営の実施				✓					○	
	労働環境	市内中小企業者への配慮	・市内中小企業者への発注等の配慮				✓		✓		○			
		障害者団体への配慮	・障害者団体への発注等の配慮							✓	○			
自主事業	指定事業	雇用待遇	・良好な雇用待遇の確保 / 福利厚生・給与							✓	○	適		
		職場の安全衛生	・職場の安全衛生の確保 / 労働災害予防・健康被害予防							✓	○			
		施設の目的に沿った事業	・施設の目的達成のため市が指定した事業の実施					✓	✓		○			
指定事業	指定事業	市長承認自主事業	・市長の承認を受け自ら実施を決めた事業の実施				✓			✓	○	適		
		募集時提案事業	・募集時に提案のあった事業の実施				✓			✓	○			
		継続事業（前年度実施事業）	・前年度の継続事業で市が指定する事業の実施					✓			○			

8. モニタリング評価（質・効果・達成度）						
区分 No	大項目	評価項目	評価の基準	自己評価 (指定管理者コメント)	市側一次評価 (施設所管課コメント)	一次評価 確定評価
No. 4 ※履行 項目と 重複	施設の運営	利用者数／苦情対応／接遇 ／利用しやすさ／清潔さ／ その他		貸出者数は、川田谷図書館がリニューアルのため休館の影響もあり、目標の155,000人に対して約138,100人と目標比89%で未達となるが、前年比では102%となった。（広域利用を含む）。 クレーム対応は、所管課へ速やかに報告・相談し、結果を各館にフィードバックして周知を図っている。 (例：掲示物の内容の統一化、利用者への対応方法など) また、所管課と毎月「図書館調整会議」を開催し、運営に関して改善すべき点の協議を継続的に おこなっている。 接遇／利用しやすさ／清潔さについては、9月に全館統一で実施した「利用者アンケート」の中 でも全体評価として、91.2%の利用者に満足・やや満足との評価をいただく。（前年+1.0%）収集 したご意見・ご要望については、すぐに改善できるものは対応し、難しい案件も所管課と連携をとり ながら改善に努めている。 また、新型コロナウイルスについては、5月8日から感染症法上の5類へと移行したのちも、感染防止対策 をおこないながら、席数制限などを解除した。	新型コロナウイルスの5類移行後も、安心 して図書館を利用してもらえよう、基本的な感染防止対策を継続し つつ、利用者のニーズに寄り添った対応を心がけており、そうした 姿勢が貸出者数の増加や利用者アンケートの高評価につながった ものと評価する。	(0)
				0		
No. 5 ※履行 項目と 重複	社会性・環境性	市内業者への配慮/障害者 団体への配慮/継続雇用/ 障害者雇用/雇用待遇/そ の他		市内業者への配慮は、印刷発注、雑誌・消耗品の購入、修繕の作業業者について、引き続き市内 業者を最優先しておこなっている。 障害者への配慮は、NDCピクトグラム（絵文字）や耳マークを導入し、障害者サービスを全館で展 開した。また、障害者向け専用書架の「りんごの棚」に今年も布絵本1冊を製作・展示した（坂田図 書館）。 継続雇用・雇用待遇では、地域最低賃金アップへの対応とベースアップをおこない、3名のスタッ フが責任者（チーフ1、サブチーフ1、サブチーフ補1）として内部昇格した。障害者雇用は、1名を 継続雇用している（中央図書館）。	市内業者への配慮や雇用に関する 企業努力が継続的に行われており、大いに評価できる。 また、「りんごの棚」をはじめ、誰もが読書を楽しめる図書館 環境の整備に注力し、分りやすい棚表示を導入する、関連資料の 充実を図るなど、至るところに工夫が見られる。	(0)
				0		
No. 6 ※履行 項目と 重複	事業の実施	事業の実施数/参加人数/ 参加率/企画内容/利用者 ニーズへの対応/その他		実施した事業数は、昨年度の18件から22件に増加した。内6件が新規事業となった。また、新型コ ロナの影響で中止していた桶川図書館での毎週土曜日の「おはなし会」も再開し、ほぼ毎回の参加 があった。 その他、公民館やhonプラス、坂田コミュニティセンターと積極的に連携し、講座（教育・文化・ 市民・歴史）やワークショップを開催した。各事業の参加人数も、ほぼ定員となる参加があり、桶川 市民の図書館事業に対する参加意識の高さが見える。講座の実施時にはアンケート調査をおこ ない、利用者ニーズの把握に努め、次の改善点として参考とさせていただきます。	新規事業を展開する一方で、既 存事業についても更なる改善を 目指すなど、意欲的な取組を評価する。	(0)
				0		
No. 7	事業収支	経費削減の効果/経費削減 の取組/収入増への取組/ その他		仕様の変更などを考慮し印刷物のストックを削減して、年々高騰する事務用品購入費用の削減に 努めた。4館の計としては予算内に抑えることができなかった（予算104%）が、各館別・月度別 「予算実績管理表」をもとに全体で抑制の努力をおこなった。 前年度に引き続き、返却期限の事前通知メールの活用や督促電話業務の強化により、督促郵便送 料金（前年比62%）とプリント代の削減につなげた。また、事務用コピーについても削減（前年比 88%/金額）を図った。 高騰を続ける電気代については可能な限りこまめな消灯や、調整が可能な館ではエアコンの設定 温度の調整で節電に努めた。	全体としては経費を予算内に抑 えることはできなかったが、物 価高騰の中、必要所まで可能な限り 節約し、高い意識を持って努力を おこなったと認識している。	(0)
				0		
No. 8	総合面	施設設置目的の実現/そ の他		地域教養及び郷土文化の普及振興を図る活動としては、前年に引き続き「図書館を使った調べる 学習コンクール」、「桶川の歴史講座」、「国文学講座」を実施した。 調べる学習コンクールについては、保護者や本人に向けた支援講座、図書館でのレファレンス受 付など、バックアップに力を注ぎ、応募作品の質の向上に貢献できた。 桶川の歴史講座では市民の方に講師を依頼し、市民の身近にある図書館を念頭に講座のテーマ を決めており、今回も大変好評を得た。また、新規で開催した国文学講座は芭蕉研究の専門家を招い て、「おくの細道」の講義をおこなった。教養を身につけるためのレクリエーションの一つとし て、多くの市民に楽しんでいただけた。 調査相談については12,151件の依頼があったが、前年比88%と減少しており、レファレンスサービ スについての周知が充分にはできていなかった。 選書に関しては公平性を保つため、幅広い年齢層と偏りのないジャンルの選書を心がけた。 その他として、川田谷図書館のリニューアルオープン準備を11月から開始。什器、資料（約1,000 箱＝3.26万冊）の搬入と配架、システム機器の設置等、他館からの応援スタッフの協力を得なが ら、約10日間と予定よりも早く終了し、1月9日（火）に無事開館することができた。新設した座席 やコーナー、Wi-Fiの導入についての利用者への案内や特別展示の実施など、図書館に足を運んで快 適に過ごしてもらえるよう努めた結果、視聴覚資料や学習席の利用者数は順調に伸び、以前に比べ て親子と一緒に本を読んでいる姿がよく見受けられるようになった。	歴史講座や調べる学習コンク ールは恒例の事業として、利用者 からの認知度や期待も高く、指定 管理者が手堅く実施を重ねてきた 成果であると評価している。 レファレンスや選書は、重要な 図書館業務の一つであり、全館 ともに一定の水準は満たしたサービ スが提供できていたと認識してい る。 川田谷図書館のリニューアル オープンについては、一丸となっ て準備に尽力し、開館後も市民が 来館してくれるよう、新しくなっ た図書館の魅力を発信していた点 を評価する。	(0)
				0		